

事務事業名	市税・国保徴収事業		所属部	債権管理対策局	所属課	債権管理対策課
政策名	総合計画体系 (VI) 推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	収納G		課長名	小林 由和
施策名		(40) 財政の健全化	担当者名	内田 幸治		電話番号 (内線)
基本事業名	(119) 財源確保	予算科目	会計	款	項	目
			01	110	10	04
					中事業	徴収事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	① 市税、国民健康保険料、後期高齢者保険料の収納業務(口座振替、消し込み) ② 市税、国民健康保険料、後期高齢者保険料の督促状発行	昭和25年に制定された地方税法の規定により市税を徴収している。

(2) トータルコスト

	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
① 事業費の内訳(概要)							
口座振替経費 1,584千円 督促状送料 922千円 収納消込事務費 273千円 一般事務費 113千円	事業内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円	547	535	933	600	600
一般財源	千円	2,554	3,395	1,959	3,897	2,500	
事業費計(A)	千円	3,101	3,930	2,892	4,497	3,100	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)							
市税等の口座振替処理 督促状の発行	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	3,589	3,410	3,410		
	人件費計(B)	千円	13,688	13,258	13,442	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	16,789	17,188	16,334	4,497	3,100	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	市税等の口座振替処理 督促状の発行	ア 口座振替依頼件数	件	322528	327517	327325	330000	330000	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 口座振替再振替通知件数	件	15643	15861	15736	16000	16000	
		ウ 督促状発行件数	件	14600	14979	15371	15000	15000	
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	納税義務者	⑥ 対象指標							
		ア 納税義務者(延べ)	人	76101	75685	76397	76000	76000	
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	円滑な収納を図る。 収納情報の適切な管理を図る。 税等の納期限納付を図る。	ア 口座振替件数	件	314352	327974	319574	330000	330000	
		イ							
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
市税の公平な徴収と徴収率の向上	ア 市税等現年収納率	%	98.49	98.54	98.51	98.7	98.7	98.7	
	イ 市税等滞納繰越収納率	%	39.58	38.5	42.59	38	38	38	

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
納税義務者の納税意識の希薄化、未納者の 固定化などが問題となってきている。また、新た に後期高齢者医療保険料の徴収が始まった が、制度の複雑さや年度中途の改正等により 多々混乱を招いている。	納税方法については、口座振替制度 が定着化している、事務的にも口座振 替データの電送化などにより効率化 を図ってきた。	後期高齢者保険料および市県民税については、 市民の方から制度や徴収方法について、特に年 金特別徴収制度について数多くの意見が寄せら れている。

事務事業名	市税・国保徴収事業	所属部	債権管理対策局	所属課	債権管理対策課
-------	-----------	-----	---------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 健全な財政運営のため、自主財源の確保が必要である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 納税義務の執行並びに税負担の平等性確保のため
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 国税徴収法並びに地方税法に規定
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 納税への啓発、納付時期の広報などにより成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 財源の確保ができず、行政運営ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 地方税法に定められている。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現状ではむりである。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 地方公共団体独自の強制執行権の行使である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	口座振替申請者が、地域、税目によってバラついている。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
広報の活用																						